参加者からの感想の抜粋

（文責：山梨県漁連事務局）

当時の長野県ご担当者による座学と現場案内により現地発生石を利用した分散型落差工と水制工、河畔林活用を学ぶことができました。河川法に『河川環境の整備と保全』が追加となった平成９年より前にこのような川づくりがされていたことに感銘を受けました。その際のご苦労話は大変参考になりました。また、この計画のアドバイザーであるC.W.ニコルさま、福留脩文さまの強い意志を感じることができました。これまで以上によい川づくりに取り組めるように精進していきたいと思います。

〜〜

空石組みによる床固工や、水制工の施工後の状況を知ることができる非常に良い機会となった。想像していた以上に施工時の状態が保たれていることに驚いた。

〜〜

講演を聴いて，まず，これほどきめ細かな河川改修が実現できたことに驚きました．費用の確保や関係者の熱意，合意形成など，いったいどうすればこれほどの取り組みが実現できるのだろうと，不思議に思うほどでした．C.W.ニコルさんの牽引力や優秀な担当者の存在に加え，当時の社会情勢や地域性など，さまざまな条件がうまく重なったのだと思います．このような取り組みを今後再び実現することは，なかなか難しいのではないかとも感じました．

また，実際に川を見て，山梨の河川とは植生が大きく異なることが印象に残りました．積雪のある地域であり標高も高いこと，甲府盆地周辺の扇状地河川よりも勾配が急であること，集水域が火山岩を主体とし，火山灰も多いことなどが影響しているのだと思います．シロヤナギが見られ，リュウキンカが保全対象となっている一方，ヨシやツルヨシは少なく，河川ごとの自然条件の違いが植生にも表れていると感じました．

このように河川ごとに自然条件や植生が大きく異なることを考えると，多自然川づくりの優良事例をいくら積み重ねても，全国共通の環境目標の枠組みにつなげることは容易ではないと感じます．それぞれの河川について丁寧に調査し，その河川に合ったオーダーメイドの整備計画を立てること，そしてモニタリングの結果を整備や管理にフィードバックしていくことの重要性を，改めて実感した現地視察でした．

〜〜

現地視察に先立ち、鳥居川の改修事業に中心的に携わった方から、当時のお話を直接伺うことができ、大変勉強になりました。

特に、近自然工法による水制工や分散型落差工について、20年以上にわたる経年変化を現地で確認できたことは、大変有意義でした。

今回の視察で得られた知見を、今後の河川設計業務に生かしていきたいと思います。

〜〜

今回も大変参考になりました。次回以上もお声がけいただければ幸いです。

当県でも官民合同で研修会ができれば…と思いました。栃木県のようになっていくには先は長いです。

〜〜

小山さんの説明はとてもわかりやすかったです。石積みが大変な事、自然の石を使うことが重要なこと、それでも自然にはかなわず変化し続けることがわかりました。

〜〜

この度は、貴重な視察研修に参加して大変参考になりました。

災害関連で一度は復旧工事を実施した箇所を、C・W・ニコル氏等の地域住民と協働して魚に優しい河川改修を実施した経緯、背景、実施方法、その後の状況等を見聞でき有意義でした。設計に携わる社員や後輩たちに情報発信と助言を考えています。

分散型床固工の状況がよくわかりました。

〜〜